

アメリカの大学図書館・市民図書館・大統領図書館 ～在米 21 年の経験から

医学部微生物学講座 教授 角 田 郁 生

1. 大学医学部図書館とヒポクラテスの木

1995年から2016年までの21年間、私はアメリカ合衆国の二つの大学医学部で研究と教育に携わっておりました。最初の14年間はユタ大学医学部で、後半の7年間はルイジアナ州立大学医学部に勤務しておりました(図1)。その間にいくつかの図書館を利用する機会がありましたのでご紹介いたします。

ユタ大学は冬季オリンピックが2002年に開催されたユタ州ソルトレイクシティにあり、広大なキャンパスに医学部を含む多くの学部・大学院を有する総合大学です。中央図書館の他に医学、法学、音楽の図書館分館がありました。私が主に利用していたのは医学部図書館で、蔵書は医学書が中心です。私が渡米した当初は電子ジャーナルの登場以前でしたが、ここでは当時既に医学雑誌がマイクロフィルム化され、手回しの機械でフィルムを展開して内容を見るシステムが導入され収蔵スペース節約がなされておりました。医学部図書館前には「ヒポクラテスの木」が植樹されておりました。この木は、ギリシャのコス島で医聖ヒポクラテスが弟子たちに木陰で医学を教えたという伝説の木に由来するものです(図2、3)。日本にも同じ由来を持つ「ヒポクラテスの木」がありますが、医学という学問の下に世界で起源を共有できる実感が持てる貴重なものです。

2. 「英訳」本の楽しみ

中央図書館では特別展示やゲスト講演などのイベントも多く開かれます。一例をあげますと2007年にユタ大学からののはじめてのノーベル賞受賞者であるマリオ・カベッキ教授の



図1 ルイジアナ州立大学医学部訪問の
近畿大学西郷和真准教授と著者(右)



図2 ユタ大学医学部の「ヒポクラテスの木」の下で
近畿大学楠進教授一行と著者(左端)



図3 オリジナルの「ヒポクラテスの木」に
由来することが説明された銘版

医学・生理学賞記念講演は盛況でした。私はキャンパス内を走行する「キャンパスシャトル」というバスを使って中央図書館を訪れたものです。専門領域の本だけでなく、映画のDVDにいたるまで幅広く所蔵しており、医学部図書館に本を転送して借りることもできました。中央図書館には一般書の蔵書も豊富でしたので、和訳のない一般書や、和訳で読んでいた本の英文原著あるいは英訳を借りて、好きな名文句の英語での言い回しを学んだりしました。文学小説の英語は、私にとりまして普段使用しない言い回しや難易度の高い単語が多く通読は困難ですが、このように文章の一部でも英語で親しんでおきますと、海外の友人とこれらの文学小説などについても深く語り合うことができました。ここで「英訳」という表現をしましたが、英語以外の洋書で日本語訳が難解なものの中には、英訳であると意味がとりやすいということがあるのを経験したのもこの時期でした。フロイト、ヘッセ、カミュ、カフカなど英語を母国語としない作家作品の英訳は、彼らの諸言語が文法的には（時には個々の単語も）英語に近いこともあり、原文の個々の単語の意味の類推を可能にし、和訳とあわせますと楽しく読めるものでした。

3. 大学図書館のコンピュータソフトライセンス・講習とデータベース

アメリカの大学図書館ではコンピュータのソフトウェアが豊富に利用できるというのもひとつの特徴で、各大学で各種ソフトウェアのライセンスが取得されており、一般的なソフトウェアから、専門分野のものまで充実してありました。図書館では、各種ソフトウェア（エクセル、エンドノート、パワーポイント、フォトショップから専門家が使う統計ソフトのようなものまで）の使い方を学ぶクラス（数回の講習からなる）が、定期的に学生と職員に無料で提供されておりました。レベルはソフトウェアごとに数段階に分けられ、たとえばパワーポイントですと、はじめて使

う人のコースから、学術発表のポスター作製のクラスまでありました。図書館ならではの学習コースとしては、文献検索の方法などのコースが初級から上級まで用意されておりました。大学院生・ポスドク・テクニシャンらにとって、基本ソフトウェアの操作と文献検索は研究上で必須です。そこで私が教育や研究室運営に携わるようになってからは、まず彼らに図書館の当該コースをとってもらい、これにより教育効率をアップさせることができました。私も自らのスキルアップのために初級から上級までいくつかの学習コースに参加いたしました。

他にアメリカの大学図書館で充実しているのが、各種データベースを利用できることです。たとえば私の場合、医学部の講義ではアメリカの国家試験にあたる USMLE の傾向と対策を指導しておりました。その時、大学図書館サイトで自由にアクセスできるオンラインの問題集・模擬試験が講義の準備に役に立ちました。また図書館ならではのサービスに「Writing 文書作成」支援があります。これは科学論文、学術ポスター、研究費申請書、履歴書などの作成に際して、図書館員が文法や様式の添削をしてくれる無料のサービスです。私は学術関係の英語文書作成の際に、通常（英語がネイティブの）同僚の教授陣に学術面と英文法の校閲をお願いしておりました。一方、図書館員は校閲のポイントが研究者とは異なり、新たな発見が多くありました。たとえば、「文章の一節に下線を引く時に、下線はピリオド・コンマの前で止める」といった文章の印刷・編集での決まりごとを学ぶことができました。このようなポイントは長年科学論文を書いている教授陣のほとんどが知らないことで、これらがまとめて書かれている教科書のようなものもありません。私のような研究者は正しい文章作成のスキルを身につけ、それを指導する立場にありますので、図書館員のこうしたサービスは実に貴重なものでありました。

大学には図書館の他に、学部の講座レベル

でも「ライブラリー」と呼ばれる部屋があります。講座に特化した専門書や講座から輩出した学位論文が収蔵されている他、学位審査などの会議やセミナーを行うスペースとして利用されます（図4、5）。アカデミックな雰囲気のあるライブラリーはある種特別で厳粛なものを感じさせる場所で、実験室・医局などの実務スペースとは一線を画しておりました。



図4 講座のライブラリーで大学院生らと著者（左端）
書棚には講座歴代の学位論文（それぞれ一冊の本）



図5 講座のライブラリーで大学院講義を行う著者

4. 市民図書館でのCD・DVDのレンタルと古本市

ソルトレイクシティ市はユタ州の州都があり人口は20万人ですが、周辺地域も含めたソルトレイクシティ・メトロポリタンエリア（都市圏）は100万人です。市立図書館は9つの図書館が連携しており、中央図書館はダウンタウン近傍にあります。8つの分館は地域に分散しており、これらの図書館ではいずれの図書館の蔵書も借りることができます。オンラインで検索と予約をしておくのが便利な方法です。所蔵しているのは本のみならず、

DVDやCDも豊富です。図書館は市民の要望に応じて本を購入しており、私の友人は、「欲しい本はいつも図書館に買ってもらってるわ!」と言っていたくらいで、リクエストはかなりの率で叶えられていたようでした。市ではクラシック、オペラ、バレエの常設楽団が毎年シーズンになると演奏会を開いており、これらのコンサートの予習・復習にCDは重宝しました。図書館のコレクションは幅広く、ほとんどの演目のCDを借りることができました。もっともコンサート前後になると、演目のCDは予約をしなければレンタルが困難ではありました。DVDも最新の映画やテレビシリーズが入荷し、これも人気の作品は予約が必須でした（もっとも、人気作品は一作品で数点を所蔵しているのが一ヶ月以内にレンタル可能）。当時私が借りたのはBBC制作のジューン・オースティン作品ミニシリーズとか、（多発性硬化症になってしまう）アメリカ大統領が主人公のテレビシリーズ「ザ・ホワイトハウス The West Wing」などでした。後者は何シーズンにもわたるものでしたので、私は気になるエピソードが収録されたDVDのみを借りておりました。アメリカのDVDは多くの作品で英語の字幕（クローズドキャプション）が難聴者用につけられており、字幕をオンにすることで英語のリスニング能力を補うことができました。

市民図書館ではさまざまなイベントも行われ、私がよく参加していたのは古本市です。定期的に数日間にわたって開かれる古本市では、入手困難な雑誌のバックナンバー、写真集、辞書、DVDなどが、一品1～3ドルほどで販売されます。図書館は市民からの本の寄付を幅広く受け入れており（所定のボックスに不要の本を入れるだけなので、煩雑な寄付の手続きは不要）、収蔵する必要のない本や、必要なくなった本を古本市に出すシステムになっています。図書館には日本語の蔵書もあり、古本市に流れてきたものを時々購入しておりました。また、自分で不要になった日本語の本も図書館に寄付しておりました（自

分が寄付した本を図書館の棚で見つけることもありましたが、古本市に出されているのを見たこともあります。古本の中で、私がよく購入していたのは旅行のガイドブックでした。アメリカ大手のガイドブックは毎年改定されますので、古本市では（一年前に発行されたものも含め）新しいガイドブックを安価で手に入れることができ重宝しました。このように古本市は市民レベルでの本のリサイクルと言えるもので、利用するものにとっては、お金の節約だけではなく、ひとつの社会活動をしている満足感が得られる体験であります。

このような図書館がありますと、本・CD・DVDの販売・レンタル店に影響が及び彼らの倒産を危惧されるかもしれませんが、実際にはそのようなことはなく、かえって読者人口などの裾野を拡げ、地域の文化レベル向上に貢献していると思われました。こうした愛好者が、地域の芸術楽団のコンサートに参加したり、また逆にコンサートの愛好者が図書館や販売・レンタル店を利用するという風な正の連鎖が生まれ、地域文化の活性化・豊かな市民生活に結びつくのではと考えます。アメリカは国として社会主義的なものは否定されがちですが、地方新聞の社説などで、「社会主義的なものというイメージが湧きにくいですが、たとえば『図書館』はその代表的なもので、これに反対する人はまずいない」としていた記事がありました。これは図書館の良さを経験済みの人にとっては「図書館にしたら税金を使ってもOK」と納得できるところで、私にとっても「市民生活に密着した公共投資ってそういうものなんだ！」と意識改革となりました。

ユタ州からルイジアナ州に引っ越す前に考えたのは、どちらも共和党が強く、キリスト教信仰に厚く（ユタ州のモルモン教はキリスト教の一派）、銃規制に反対、狩猟などのアウトドアライフを愛するカーボーイたちの保守的な州であるということです。ところが、実際引っ越してみて実感したのは、地域の文化レベルの違いでした。ルイジアナ州立大学の

あるシュリーブポート市の人口は20万人でソルトレイクシティと同規模で、周辺地域を合わせた人口も50万人と全米では大規模な都市圏のひとつです。ところが、図書館、芸術楽団やコンサートの規模・数はソルトレイクシティの4分の1ほどで、ナショナルパブリックラジオなどの教養番組の数、美術館・博物館の規模も極めて小さいものでした。もちろん、両市の違いは、ルイジアナが南部であることや、外国人も含めた人種構成・宗教諸派・貧困率の違いなど多くの要素も考慮する必要がありますが、図書館の果たす地域文化への役割というのも小さくないと考えます。

5. アメリカ大統領図書館と図書館の未来

最後に御紹介したいのは、あまり日本のガイドブックに取り上げられないことのないアメリカの各地にある「大統領図書館」です。各々の図書館では31代フーバー（1929－1933）から43代のブッシュ（2001－2009）までのいずれかの歴代のアメリカ大統領が、任期中に関与した文書などが保管され一般公開されています（オバマのものはデジタル図書館が開館予定）（図6）。展示品は公務に使った車から写真や動画の数々で、訪れた印象は図書館というより博物館です（図7）。研究者が公文書などを閲覧できるなど図書館として機能しているのはもちろんのこと、博物館としても第一級で、アメリカ観光地の中で私が二番目にお勧めしたいスポットです（一番は国立公園）。各大統領の業績が、時代背景も含



図6 テキサス州のジョージ・H.W.・ブッシュ大統領図書館



図7 アーカンソー州のクリントン大統領図書館で
ガラス彫刻家チフリー展を訪れる著者（手前着帽）

めて理解することができる展示内容で、大統領に対してポジティブなものと同様にネガティブなものも公平に扱われている点が特徴です。私はケネディ、ジョンソン、ブッシュ父子、クリントンの図書館を訪れましたが、どれも充実しておりました。博物館という機能も兼ねた図書館ということでは世界に類をみないもので、図書館の進化形と言えるのではないかと考えます。

書籍・雑誌のデジタル化に伴い図書館のあり方も急速に変化しているのが現状であります。私は近畿大学に赴任してから3年半になりますが、近畿大学のアカデミックシアターや中央図書館の近年の試み（本の殺菌消毒機の導入、マンガの収蔵やユニークな配架など）は、時代の要請に応えようとするものであると感じております。医学部図書館には「華岡青洲流の医療器具」が収蔵されており、オープンキャンパス開催時に閲覧可能です（通常は非公開）（図8）。これは近畿大学の世耕政隆元総長が医学部を創設するにあたり、器具を医学生に示すことによって医学教育に役立



図8 近畿大学医学部図書館で華岡青洲流医療器具の一般公開

てようと考え収蔵したものです。私も先人に倣い、医学生の興味を拡げ、図書館のよりよい活用法を模索しております。近年では医学部図書館に「はたらく細胞」などの医学マンガやハンセン病を扱った映画「あん」の収蔵を推薦しました。今回私が挙げたアメリカの図書館の特徴のなかで、ソフトウェアも含めたデジタル資料の充実とその学習コース、文書作成の支援、レクチャー・古本市などのイベント、CD・DVDの収蔵など、日本の図書館にも応用可能あるいは図書館の進化の一助になるものがあると思う次第です。

参考 URL

ユタ大学中央図書館 J. Willard Marriott Library: <http://lib.utah.edu/>

ユタ大学医学部図書館 Spencer Eccles Health Sciences: <https://library.med.utah.edu/>

ルイジアナ州立大学医学部図書館 Louisiana State University Health Sciences Center-Shreveport, Medical Library: <https://www.lsuhsctshreveport.edu/our-schools/library>

ソルトレイクシティ市民図書館 The Salt Lake City Public Library System: <https://www.slcp.org/>

アメリカ大統領図書館 Presidential Libraries: <https://www.archives.gov/presidential-libraries>

（受理日 2019年8月30日）